

公立保育園に保育ICTシステムを導入 ～保護者の利便性と保育の質の向上を図ります～

1 目的

保育園を利用する保護者の利便性向上、及び保育園の業務負担軽減による保育に専念できる環境整備と保育の質の向上を図るために、公立保育園に保育 ICT システムを導入し、欠席遅刻などの相互連絡や登降園管理を始めとする管理運営業務のデジタル化を図ります。



2 概要

公立保育園全てにネットワーク環境や専用端末を整備することで、今まで電話や対面、紙面で行っていた保護者と保育園の相互連絡が、スマートフォンでも可能となります。

(1) 無線環境を全 29 園に整備（1 月中に完了予定）

※ 建替え中の高座保育園は令和 5 年 4 月の開園から

(2) 登降園時刻打刻用と各保育室に端末（iPad）を配備 配備台数 302 台（全 29 園分）

(3) 機能概要

登降園の記録	・システム登録した家族間で登降園時刻を共有可能 ・登降園時刻の自動記録により保育園の業務負担が軽減
連絡帳等の相互連絡、保育記録	・保護者からの欠席・遅刻連絡、保育園だより等のお知らせ連絡が、保護者のスマートフォンで確認可能



(4) 機能の利用開始時期

時期 (予定)	利用開始する機能（予定）	
	保護者	保育園
1 月	登降園記録、欠席連絡	お知らせ連絡
6 月	連絡帳	園だより

※ 将来的に保育指導計画や保育記録、小学校への引継データの作成も行う予定です。

3 システムの導入時期

1 月 10 日(火)から先行導入の桃山保育園と上八田保育園 2 園で登降園の記録を開始し、2 月を目標に全保育園に拡大していきます。

4 予算額

92,490 千円（デジタル田園都市国家構想推進交付金の対象）

5 県内の状況(同規模及び近隣市)

豊田市、豊橋市、岡崎市、瀬戸市、犬山市、尾張旭市が同様のシステムを導入